

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公開番号】特開 2003-117322(P2003-117322A)
 【公開日】平成 15 年 4 月 22 日 (2003.4.22)
 【出願番号】特願 2001-316913(P2001-316913)
 【国際特許分類第 7 版】

B 0 1 D 39/20

B 0 1 D 39/00

F 0 1 N 3/02

【F I】

B 0 1 D 39/20 D

B 0 1 D 39/00 A

F 0 1 N 3/02 3 0 1 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 7 月 20 日 (2004.7.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 1】

(実施例 6、7)

図 5 に示すように、接合材 8 A (中心を通る十字状の接合材の部分) と接合材 8 B (周辺部) の接合材を表 5 に示すような組み合わせの接合材とした以外は実施例 1 と同様の方法で、ハニカムフィルターを作成し、実施例 1 と同様の方法で限界スート堆積量を測定した。結果は、表 5 に示すように、周辺部に熱伝導率、熱容量の値の小さい接合材を用いることにより、温度分布がより生じにくい方向になり、接合材として 1 種類の接合材のみを用いた実施例 1、3 と比較して限界スート量が 1 ランク上がり、さらに耐久性が増した。